



この人に聞きたい!
「失敗学」

畠村洋太郎

Yotaro
Hatamura

日本工芸学者、東京大学名誉教授。東京都出身。失敗学の提唱者で失敗学会の設立にも携わった。創造的設計論、知能化加工学、ナノ・マイクロ加工学、最後ではものづくりの領域に留まらず、経営分野における「失敗学」などにも研究領域を広げている。

失敗が怖くて起業できない… 失敗が怖くて更なる投資ができない…
失敗が怖くて自分以外の誰にも任せられない…

失敗を恐れるあまり、どうしたらいいのか判らなくなっている事ってたくさんありますよね。

でも多かれ少なかれ、どんなビジネスにも失敗はつきもの。
ならば、失敗することを肯定的に捉え、それをうまく生かすコツや未然に防ぐヒントにすれば、勇気を持って踏み出せることもきっとあるはず!
「失敗は成功の母」を科学的に実証した失敗学の提唱者・畠村洋太郎先生に、失敗との上手な付き合い方を聞いてみましょう!

個人の成長も組織の発展も、失敗とのつきあい方で大きく違う。

「失敗学」は失敗しないようにするための学問だと思っている人が多いが、決してそうではない。人間の活動に失敗はつきものだからである。特に、人がそれまでにやったことのない新しいことに挑戦すれば、ほぼ失敗である。絶対に失敗したくないのなら、はじめから新しいことに挑戦するなど大それたことを考えなければよい。しかし、それでは進歩も成長もおぼつかない。新しいことに挑戦して進歩・成長するには、失敗した原因を詳らかにし、その失敗を生かして再度挑戦し、成功するまであきらめないことだ。

近年日本の産業は長く低迷しているが、その原因是、既にどこかに存在する「正解」に向かって努力すれば何とかなるという文化そのものにあると考えられる。今は、正解はどこにあるものではなく、自ら考え、挑戦して正解を見出さなければならない時代である。それにも拘らず、日本では、一度でも失敗してしまうと、その人間や組織に挑戦のチャンスが再び巡ってくることはほとんどない。日本の組織の中では新しいことに挑戦することがプラス評価にならず、失敗がマイナス評価につながることがよく見受けられる。このように失敗が許容されない文化の中では、新たな挑戦も起こり得ないし、進歩や成長も見込めない。

だからといって、闇雲に挑戦すればいいということでは決してない。きちんとした知識を身に付け、適切な情報を十分に収集しておくことが肝要である。そのために重要なのが「3現（現地・現物・現人）」である。「3現」とは現地に行き、現物を直接見たり、現物に触れたりし、現場にいる人の話を聞いたり議論したりすることである。こうすることによってメディアやネットを通じて学ぶより、はるかに立体的に多くを学ぶことができる。それは、五感をフルに使って対象と向き合うことで、脳の深い部分が刺激され、知識がより強固に定着すると考えられるからである。（「新失敗学」畠村洋太郎著 講談社）

この「3現」の継続的実践こそが失敗学から見た成功の要諦だと私は考えている。

失敗を恐れず、思ったことを実際に移すのはとても大事なこと。ただできる事なら失敗はしたくないし、失敗したならばそれは必ず次の成功に活かしたいもの。そんなときは1人であれこれ悩むより、相談できる相手がいると心強いし有難いですよね。

悩める経営者の右腕に
創業の窓口



スマホで
『簡単』
アクセス!

裏面もぜひご覧ください!

今月のオススメ補助金

3月30日に第10回事業再構築補助金の公募が開始されました。申請受付締切は6月30日18時です。今回から事業再構築指針、申請枠、事前着手制度等が変わります。

事業再構築指針については、新分野展開と業態転換が統一された「新分野進出」と海外で製造等する製品について、その製造方法が先進性を有する 国内生産拠点を整備する「国内回帰」が追加されました。

申請枠については、「成長枠」「グリーン成長枠」「産業構造転換枠」「サプライチェーン強靭化枠」「最低賃金枠」「物価高騰対策・回復再生応援枠」そして賃金引上げ等のインセンティブとして、「大規模賃金引上促進枠」「卒業促進枠」が設けられました。このインセンティブ枠は「成長枠」もし

くは「グリーン成長枠」との同時申請が必要です。

また事前着手承認制度については、「最低賃金枠」「物価高騰対策・回復再生応援枠」「サプライチェーン強靭化枠」に限られ、期間は2022年12月2日以降の設備の購入契約等が対象になります。

さらには、審査項目の文言も大幅に変わっております。申請をお考えの事業者様においては、今一度公募要領をご確認ください。

事業計画を作成するにあたっては認定経営革新等支援機関の確認が必要です。当社も認定経営革新等支援機関の認定を受けていますので、お気軽にご連絡ください。

担当:津谷川 匠(中小企業診断士)



クリエイティブの現場から

「伝わる」資料のポイントの一つに、内容に合わせたフォント選びがあります。文面に合わせてフォントを選ぶことは、内容を正しく伝えるために重要です。格式張った文面に丸ゴシック体を使ってしまったり、軽めの案内文に太い明朝体を使ったりしてしまうと重い印象を与えるので、より適切なフォントを使い分けることが大切です。Webサイトや紙媒体、動画制作でビジネス課題をお持ちの事業者様はクリエイティブ事業部までお声掛けください。

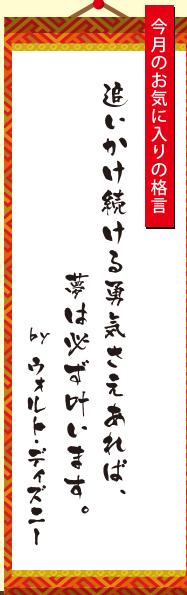
担当:田渕貴美(Webデザイナー)

当社の中小企業様向けセミナーをご紹介するWEBサイト「人材育成の右腕サイト」が完成しました!他のサイトにはない特徴として、商工会・商工会議所の方向けにセミナービデオや投影資料を無料掲載しております。商工会・商工会議所の方が中小企業向けのセミナーを企画される際に、事前に内容を確認したうえで、安心して当社にご依頼いただけます。気になるセミナーがございましたら、是非お気軽に当社までお問い合わせください。

担当:江川香子(中小企業診断士)

社長の野望

当社ではCFJ Vision2030という長期ビジョンを掲げ2030年に向けて大きなチャレンジをしています。このチャレンジは決して簡単なものではなく、達成するには越えなければならない壮大な山が無数あります。正直、社内でも本気でいる人はまだ少ないかもしれません。しかし、達成するためには小さな一步でもいいので踏み出す必要があります。まずは想いを口に出し、ここを目指すということを社内に示す。そしてあとは覚悟を持ってチャレンジし続ける。このチャレンジが成功するのか、失敗に終わるのか。自分の人生を賭けた勝負、社外の皆様にもぜひ温かく応援していただけますと幸いです。



編集後記

今回の特集で初めて「失敗学」なる学問のある事を知りました。「事故や失敗が発生した原因を解明し、(将来)経済的な打撃をもたらしたり、人命に関わるような重大な事故や失敗が起きることを未然に防ぐための方策を追求する学問」らしいです。一見マイナスな印象がありそうですが、自身を振り返ってみて成長したなど感じる時はもなく沢山失敗していたような気がします。今は果たしてどうか、そう思う良いきっかけになりました。

担当:佐藤泰充

株式会社 コムラッドファームジャパン

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-13 CONVEX神保町2階
TEL 03-6261-5351 FAX 03-6261-5352 comrade-firm.co.jp